

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム かがやき

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)
氏名 和泉 直江

評価完了日 平成 19年 4月 4日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年6月1日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|-------------------------------------|-------|-----------|
| 事業所番号 | 3870104803 | | |
| 法人名 | 有限会社 ヒメックス | | |
| 事業所名 | グループホームかがやき | | |
| 所在地 | 愛媛県松山市東方町甲1438-1 (電話) (089)924-0338 | | |
| 管理者 | 和泉 直江 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 JMACS | | |
| 所在地 | 松山市三番町六丁目5-1 扶桑ビル2階 | | |
| 訪問調査日 | 平成19年4月26日 | 評価確定日 | 平成19年6月1日 |

【情報提供票より】 (平成19年4月 日 事業所記入)

| | | | |
|----------------------------|-----------------|--------------------|------------------------|
| (1)組織概要 | | | |
| 開設年月日 | 平成17年5月1日 | | |
| ユニット数 | 2ユニット | 利用定員数計 | 18人 |
| 職員数 | 18人 | 常勤 | 12人, 非常勤 6人, 常勤換算 8.5人 |
| (2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く) | | | |
| 家賃(平均月額) | 30,000円 | その他の経費(月額) | 利用状況により異なる |
| 敷金 | 有()円 (無) | | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有()円 (無) | 有りの場合償却の有無 | 有 / (無) |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり 1,000円 | | |
| (3)利用者の概要 (平成19年4月 日現在) | | | |
| 利用者人数 | 18名 | 男性 6名 | 女性 12名 |
| 要介護1 | 3名 | 要介護2 | 4名 |
| 要介護3 | 5名 | 要介護4 | 3名 |
| 要介護5 | 3名 | 要支援2 | 0名 |
| 年齢 | 平均 86歳 | 最低 60歳 | 最高 100歳 |
| (4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算 | | | |
| 指定 | あり・なし | 指定介護予防認知症対応型共同生活介護 | |
| 指定 | あり・なし | 指定認知症対応型通所介護 | |
| 届出 | あり・なし | 短期利用共同生活介護 | |
| 加算 | あり・なし | 医療連携体制加算 | |

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

| |
|---|
| <p>法人代表者や管理者は、認知症介護のあり方や利用者の思いや意向をいかに汲み取るかの勉強会を内部で実施し、事業所のさらなる質の向上に取り組まれている。調査訪問時、昨日入居したばかりの方のために、彼のお好きな歌を皆で一緒に歌い和やかな雰囲気作りに努めておられた。</p> <p>職員は、「事業所は家庭的な雰囲気です職員同士のチームワークも良く、また利用者からことわざや家事を教わることが楽しい。」と話しておられ、これからも、「利用者個々の身体的、精神的にも現状を維持できるよう支援していきたい。」と話しておられた。</p> |
|---|

【質向上への取組状況】

| |
|--|
| <p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の評価結果を受けて改善計画を作成し、年間を通して改善に取り組まれた。 |
| <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者が職員の意見をまとめ、自己評価を作成された。 |
| <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに1度、運営推進会議を開催された。その際、ホームの概要などを説明され、民生委員に地域の方にホームの施設などを地域で利用してほしいと提案などもされた。 |
| <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の来訪時には、日頃の暮らしぶりや日々の体調の変化などを伝えておられる。また、月に1度、行事の写真なども添えて、利用者個々の近況報告をご家族に送付されている。 |
| <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くの小学校の運動会に参加されたり、幼稚園に利用者手作りの竹とんぼなどを持参された。また、近隣の友人が利用者を訪ねて来られる事もある。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------|------|---|--|---------------------------|---|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | (自己評価) | | |
| | | | その人らしい暮らしを大切に支えていくための理念は考えている。入居される方が地域外の方が多いので、特に居住地域に密着した理念にはなっていない。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 運営者は、地域との交流を目指した理念作りに取り組みたいと考えておられる。 | | すべての職員で意見を出し合われて、地域との関わりが反映された理念を作っていかれることが期待される。 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 全体会、ユニット会などスタッフ会議において、あるいは日々のケア場面の中でも理念に基づいたケアに向けて取り組んでいる。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 運営者および管理者は、機会を捉えてホームの理念を職員に話しておられる。職員は、利用者一人ひとりの個性に寄り添うケアを心がけておられた。 | | |
| 3 | | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 開所時、地域の自治会より「会社」と考えるとのこと。おみこし、溝掃除などの行事は参加させてもらっているが、理念の理解などには至っていない。 | | |
| | | | | | 利用者と地域の方が気軽にふれあえる機会づくり。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 4 | | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | (自己評価) 隣の方には地域行事の誘いをしてもらったり、徘徊の方の行動を知らせてもらったり、おすそわけなどのつきあいもさせてもらっている。 | | |
| 5 | 3 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | (自己評価) 地域とのつきあいは大切と考えるが、地元の方のこちらへの考えもあるので(3)、少しずつ交流を深めていこうと考える。 | | 地域での認知症ケアなどの相談所としての役割がもてればと考える。そのための活動(ホーム便り配布、ホームページ) |
| | | | (外部評価) 近くの小学校の運動会に参加されたり、幼稚園に利用者手作りの竹とんぼなどを持参された。また、近隣の友人が利用者を訪ねて来られる事もある。 | | さらに、地域の行事などに積極的に参加し、地域との関係性を深めていかれることが期待される。 |
| 6 | | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価) 特別には行えていない。 | | 地域の方を対象にした認知症の勉強会 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | (自己評価) サービス評価についての目的は話し合いなどで伝えている。これからのホームの改善に活かしたいと考える。 | | 評価を受けての、具体的な取り組み案の作成。 |
| | | | (外部評価) 前回の評価結果を受けて改善計画を作成し、年間を通して改善に取り組まれた。管理者が職員の意見をまとめ、自己評価を作成された。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) | |
|------|------|--|--|--|--|--|
| 8 | 5 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | (自己評価) | | | |
| | | | | 運営推進会議をあまり開けていない。 | | 地域や地域包括センターの方に運営推進会議への参加を呼びかけ、メンバーの意見をサービス改善へと取り入れていきたい。 |
| | | | (外部評価) | | | |
| | | | これまでに1度、運営推進会議を開催された。その際、ホームの概要などを説明され、民生委員に地域の方にホームの施設などを地域で利用してほしいと提案などもされた。 | | 運営推進会議の回数を重ねていかれて、ホームと地域との相互理解を深め、地域の協力を得られるよう働きかけていくことが期待される。 | |
| 9 | 6 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | (自己評価) | | | |
| | | | | 松山市の巡回員を受け入れ、月3回一年間を通して、アドバイスをもらってサービスの質の向上に取り組んでいる。 | | |
| | | | (外部評価) | | | |
| | | | 市の巡回員の助言のもと、意見箱を設置したり、研修報告書の充実などに取り組まれた。 | | | |
| 10 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価) | | | |
| | | | | 今、活用されている方はいない。 | | 権利擁護や成年後見制度についての勉強会を開く。 |
| 11 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | (自己評価) | | | |
| | | | | 勉強会など行っていないが、ケアの場で虐待とは何か意識し、防止に努めている。 | | ユニット会などで虐待防止の勉強会など行う。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 契約時にこちらの考え方、医療体制について十分に話し合うようにしている。 解約する際も、家族、本人希望などよく話し合うようにしている。 | | |
| 13 | | 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 利用者からの意見、不満、苦情は職員、管理者、運営者とともに話し合い対応行っている。 外部者へは特別表す機会は設けていない。 | | |
| 14 | 7 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価) 面会時や個人個人の状態に合わせて、細かく報告、連絡行っている。 | | 定期的な家族便りの発行 |
| | | | (外部評価) ご家族の来訪時には、日頃の暮らしぶりや日々の体調の変化などを伝えておられる。また、月に1度、行事の写真なども添えて、利用者個々の近況報告をご家族に送付されている。 | | |
| 15 | 8 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 家族からの意見、不満、苦情には直ちに話し合いの場を設け、解決に向けている。現状を変えることが必要な時は、なるべく迅速に対応行っている。 | | |
| | | | (外部評価) 玄関に意見箱を設置されている。夏祭りにはご家族も参加されたが、ご家族同士で話し合われたり、交流されたりする機会は少ない。 | | 今後、事業所ではご家族への情報発信に努め、行事などにご家族に参加していただくなど、ご家族から希望や意見が出やすくなるような機会作りを考えられていた。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|---|---|---------------------------|---|
| 16 | | 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) 職員の提案をユニット会などで聞き取り、変えることが必要な場合は現状改善を行う。 日頃より職員とのコミュニケーションをとり、言い易い雰囲気をはがける。 | | |
| 17 | | 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | (自己評価) 職員の勤務への希望、要望は柔軟に調整につとめている。 利用者の状況に応じて、勤務体制なども変えてきている。 | | |
| 18 | 9 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価) なるべく異動がないよう努めている。変化(退職など)ある時は、利用者への説明、フォローは必ず行い、ダメージを防いでいる。 | | |
| | | | (外部評価) 運営者は、すべての職員が利用者一人ひとりと信頼関係を築くことができるよう配慮し、また、職員の声に耳を傾け、汲み取るようにされている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) 研修をうける機会を設け、すすめている。(正職員・パートとも) なるべく多くの職員が受講できるよう調整行っている。 | | 研修報告会などの機会を設ける。 働きながらの研修制度をつくる(自施設) |
| | | | (外部評価) 内部の勉強会は行っているが、外部の研修の機会は少ない。 | | 今後、さらに内部研修の充実を図ると共に、外部研修の積極的な受講を検討されている。職員を育てるさらなる取り組みが期待される。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|------|--|--|---------------------------|--|
| 20 | 11 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価) | | |
| | | | 特別には行えていない。 同業者との交流は互いの質向上や、相談など大切と感じる。 | | グループホーム同士での勉強会 相互訪問の機会づくり |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 運営者は、同業者とのネットワーク作りに取り組んでおられ、グループホームを利用希望されている方の紹介など情報交換もされている。 | | |
| 21 | | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 職員配置の工夫、日頃からコミュニケーションをよくとるようにしている。 休憩室、休憩時間の確保を行っている。 定期的な食事会を行っている。 | | |
| 22 | | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | (自己評価) | | |
| | | | 日頃の関わりで、職員1人1人の仕事への努力、思い、悩みを把握するよう努めている。(運営者は頻繁に現場に来ている) 心身の健康のため、健康診断、インフルエンザ予防注射など実施している。 | | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 23 | | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) | | |
| | | | 利用前は、家族、本人よりこれまでの暮らし、不安なことなどを聞かせてもらう。 利用開始時は、1人の職員が数時間そばについて気持ちのききとりのケアを行う。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| 24 | | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) 見学時より、家族の困っていることなど聞きとり行うよう心がけている。利用初期は不安なことなどないが家族自身の思いを聞きとり、対応している。 | | |
| 25 | | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) 本人、家族が一番安心できる生活が送れるような支援(他のサービスの紹介なども)を心がけている。 | | |
| 26 | 12 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価) できる限り、本人・家族に見学に来てもらえるよう働きかけている。 突然の利用となった時も、本人が安心できるように関わりのある方の訪問・電話など工夫している。 | | |
| | | | (外部評価) 入居者の家庭や入居者の利用している施設を訪問されるなど、安心して利用できるよう配慮されている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | (自己評価) 本人の心の奥の悩み、思いを知るようにつとめている。 昔からのならわし、家事手芸など一緒に行き職員が教えてもらうような場面、取り組みを行っている。 | | |
| | | | (外部評価) 調査訪問時、職員は、歌の好きな利用者に合わせて楽しそうに歌っておられた。職員は、利用者から昔のことわざや料理などを教えていただくこともある。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|--|---------------------------|--|
| 28 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) 全ての家族の方とではないが、本人をまん中に共に喜びあえる関係を築けている。 | | |
| 29 | | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | (自己評価) 全ての方ではないが、面会時など、本人の思いを伝え、両者の良い関係のための支援をしている。 | | 面会のない方に、相互交流の機会づくり (手紙で訪問での呼びかけなど) |
| 30 | | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている | (自己評価) 交友関係が続けられるよう、気軽な訪問、外出ができるよう支援心がけている。 | | |
| 31 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | (自己評価) 日常生活で利用者間の良い交流ができるよう職員は間に入って支援している。 利用者は日により心身変化あるため、交流の動きに気を配っている。 | | |
| 32 | | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価) 利用されなくなってからも、ご家族の訪問がある。関わりは断ち切らないで行くことを心がけている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|--|--|---------------------------|---|
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1.一人ひとりの把握 | | | | | |
| 33 | 14 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) 利用者の生活への思い・意向を聞き取り、少しでも近づけるように努めている。 困難な場合は家族にも相談し、意見をきいて、本人にとって良い暮らしを検討している。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | お正月には、利用者の希望を聞き取り、おせち料理を作られた。利用者一人ひとりとのコミュニケーションを大切にし、思いを汲み取るよう努められている。 | | |
| 34 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) 本人の話をよく聞くことや、在宅から来られる時は家族さん、他施設から来られる時は、担当者の方からも、これまでの暮らし方について把握に努めている。 | | |
| 35 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | (自己評価) 一日の過ごし方、その方のできること、心身状態など日々小さなことからでも気づき、トータル的な把握をするよう努めている。 | | |
| 2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 36 | 15 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | (自己評価) 利用者本人とスタッフで取り決めることがほとんどである。そのとき、本人の望みを引き出した計画にしている。 重度の方は家族と相談の上作成している。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 重度の方以外は、ご家族などの意見が介護計画に採り入れられていない。 | | 利用者のより良い暮らしを支えるために、ご家族や医療関係者、友人などご本人に関わる方の意見を採用し、介護計画をチームで作成していかれることが期待される。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------|------|--|---|--|--|
| 37 | 16 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価) | | |
| | | | | 見直しは6ヶ月に1回行なっている。 その間に変化あった方は新しい計画を作成している。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | ケアプランチェック表などで日々確認し、現状に即した介護計画の見直しがなされている。 | | |
| 38 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) | | |
| | | | | ケース記録などへの食事・水分・排泄の記入、本人の日々の様子から気づいたことも記入している。 更に細かい情報・変更時はミーティングノートなど利用し、勤務前に見るように指導し、情報共有を行っている。 | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 39 | 17 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | | 本人、家族の状況、希望に合わせて、柔軟に行っている。 通院、入退院の移送サービスなど行っている。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 利用者が通っている絵画教室へ送迎したり、葬儀の際に職員が利用者に同行されたこともある。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 40 | | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | (自己評価) 月に1回お花の教室のボランティアと、季節ごとに合唱のボランティアに来てもらっている。民生委員、警察機関とは必要に応じて相談しようとする。 | | |
| 41 | | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | (自己評価) 特別に必要なため、行っていない。訪問理美容サービスは活用している。 | | |
| 42 | | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価) 運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加されるようになり、必要時に連携がとれるようになった。 | | |
| 43 | 18 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | (自己評価) 本人家族の希望のかかりつけ医ある方はかかられている。契約時などに話し合い行っている。 (外部評価) 協力医やかかりつけ医と連携を図り、適切な医療が受けられるようになっている。協力医は毎日、往診に来られる。 | | |
| 44 | | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | (自己評価) 協力医と相談しながら、必要な場合は対応行っている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|--|---------------------------|--|
| 45 | | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | (自己評価) 日頃よりかかりつけ医と相談しながら、日常の健康管理を行っている。 | | |
| 46 | | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価) 入院されたダメージを最小限で抑えて、またホームでの暮らしが早く可能になるよう、医療関係者、家族、本人と相談行っている。 | | |
| 47 | 19 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | (自己評価) 心身状態変化は家族と連絡をとりあい、重度化、終末期の対応を行っている。 (ターミナル期の方の入居例あり) (外部評価) 契約時には、ご家族の希望などを聞くようにされているが、かかりつけ医等を交えて、繰り返し話し合うような機会は持たれていない。 | | 重度化や看取りについて、ご家族の中には不安を持っている方もおられる。ご本人やご家族、かかりつけ医等と繰り返し話し合わせ、方針を共有していかれることが期待される。 |
| 48 | | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価) 主治医、家族とよく話し合って検討行っていく。本人、家族の希望を大切に支援していく。 急変時対応を医師とも連携を図っている。 | | |
| 49 | | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | (自己評価) 他施設、自宅からの移り住みのダメージ防止のため、これまでのサービス担当の方に訪問していただいている。 本人のこれまでの暮らし方、好みが続けられるよう情報交換行っている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|---|---|---------------------------|---|
| <p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> | | | | | |
| <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> | | | | | |
| <p>(1)一人ひとりの尊重</p> | | | | | |
| 50 | 20 | <p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>(自己評価) 利用者1人1人の誇り、プライバシーを損ねないような対応を心がける。 問題がみられた場合、迅速に管理者、運営者をまじえて話し合う。</p> | | |
| | | | <p>(外部評価)</p> | | |
| 51 | | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> | <p>(自己評価) 日常での関わりで利用者の希望を把握したり、思いを表せるように努めている。 日常生活で小さなことでも本人が決定できることを奪わないよう支援している。</p> | | |
| 52 | 21 | <p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>(自己評価) 1日の基本の流れはあるが、利用者の状況により変えている。利用者のしたい事・好みの時間の過ごし方を大切にして支援に努めている。</p> | | <p>(外部評価) さらに、利用者一人ひとりがその人らしいペースで、穏やかに暮らせるような支援に取り組まれることが期待される。</p> |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | (自己評価) 髪型衣服の希望を日常生活上で聞いている。理・美容室も本人の希望の所への支援の働きかけするが、出られる方少ない。 外出などではおしゃれできるよう働きかけをしている。 | | 入居者が自分の希望の理美容室を気軽に訪問できるような体制づくり |
| 54 | 22 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) 行事や季節のものなど、利用者の希望に沿った食事が提供できるよう努力している。 魚などは魚屋さんより届けてもらっている。一部の方だが調理の下準備、テーブルをとのえてもらっている。食事は職員と一緒にとる。 (外部評価) 利用者の好みを聴き取り、献立に反映されている。配膳や下膳、調理や食器洗いなどを手伝っている利用者もおられた。湯呑みとお箸はご自分のものを使用されている。 | | |
| 55 | | 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | (自己評価) 健康に支障なければ、おやつ、お酒、たばこなどを楽しめるように支援している。 | | |
| 56 | | 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | (自己評価) 一人一人の排泄パターンを記録し、気持ち良い排泄ができるよう、トイレ誘導など行っている。 尿意のない方へ、時間をみて誘導行うようにしている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 57 | 23 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | 入浴の希望日、時間を本人よりお聞きし、それに沿って入浴してもらっている。入浴好きな方にはゆったり入ってもらっている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 毎日声かけし、利用者一人ひとりの希望や状態に合わせた入浴支援がなされている。入浴中にお話するなどリラックスできるよう支援されている。 | | |
| 58 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 心身状況を常に観察し、休息してもらったり、安眠できるように日中の活動量なども気をつけている。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 一部の方だが、得意分野(洗濯たたみ、干し柿づくりなど)自分の役割をもたれて生活されている。日常生活の中で一人一人が喜びと活力を持たれて自分から動けるようなことを職員は探っている。 | | 趣味を活かした行事を催す(1人1人の持つ意欲向上、生活への喜びの発見) |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 調査訪問時、洗濯物を干したり、将棋を楽しんだりしておられた。趣味の絵画教室や福祉作業所に通われたり、ご自身の居室や共用空間の廊下を掃除される方もおられる。 | | 今後ホームでは、誕生会等の行事や花見等の外出の機会を増やしていきたいと考えられている。さらに、利用者一人ひとりの興味や思いなどを探り、楽しみながら続けることができるよう取組まれることが期待される。 |
| 60 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | ほとんどの方が少額のお金を手元におかれて、買い物などは自分で支払われている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|---------------------------|--|
| 61 | 25 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 希望に沿って外出を支援している。 (散歩、買い物、戸外での食事、お花見、公園) | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 毎日のように近くのお寺までお参りに出かけたり、ご家族と一緒に散歩を楽しまれる方もおられる。ご本人の希望に応じて玄関周辺での日光浴をされる方もおられる。 | | |
| 62 | | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価) | | |
| | | | 一部の方のみ行えている。 | | 全ての方の行きたい所への支援プランを具体的に考え実施 |
| 63 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 希望に応じて電話、手紙などできるよう支援している。 | | |
| 64 | | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | (自己評価) | | |
| | | | いつでも気軽に訪問してもらえるよう、訪問時間も定めていない。 笑顔でお迎えするよう心がけている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|--|---|---------------------------|--|
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) 管理者、現場リーダーなどが、職員に日々のケアの中で心身拘束しないケアについて話しているが、全ての職員が正しく理解するには至っていない。 | | 身体拘束、権利擁護の勉強会を実施 |
| 66 | 26 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | (自己評価) 玄関には日中鍵を掛けていない。よく出られる方は行動をよく見守り、さりげなく声かけしたり、一緒に出る場合もある。 居室は本人が掛けたい方が掛けるのみ。 (外部評価) 玄関は、日中施錠されていない。夜間、利用者の希望で自室に鍵をご自身でかけられている方もおられる。 | | |
| 67 | | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | (自己評価) 日中は同じ空間にいて、全員の状態把握・安全確認をさりげなく行っている。居室にいる方も声かけ見守りし、様子把握している。夜間はフロアが見渡せる所で過ごすなどしている。 | | |
| 68 | | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | (自己評価) 利用者の状況に合わせ、注意が必要な物品を職員で話し合って管理している。 | | |
| 69 | | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | (自己評価) 事故防止のためのヒヤリハット報告書作成し、その情報を職員間で共有し、一人ひとりの事故防止に努める。 事故のあった場合には事故報告書作成し、その日の職員で対策考えるようにしている。家族にも状況説明行う。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|---|---|---------------------------|---|
| 70 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | (自己評価) 発熱・ケガなどは対応マニュアルがあり定期的に訓練している。 応急手当の講習は受けていない。 | | 応急手当の講習会で技術の習得(全職員) |
| 71 | 27 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | (自己評価) 災害時に向けた対策・訓練を定期的に行っている。 隣近所の方とは協力得られるように働きかけている。 (外部評価) 年に2回、避難訓練を行っている。夜勤は、1・2階で一人勤務となっている。 | | 運営推進会議の機会を捉えて、地域との協力体制について話し合いをすすめていかれることが望まれる。 |
| 72 | | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | (自己評価) リスクを伴うケースは家族に説明は行っている。 リスクのないようなケアを行うことも常に気を配っている。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | (自己評価) 利用者の普段の状況を職員は把握し、体調変化時はバイタルチェックを行い、管理者にすぐ報告し、職員間で対応にあたる。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|--|---------------------------|--|
| 74 | | <p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> | <p>(自己評価) 処方箋のコピーをケース記録に付けている(薬について内容理解のため)。 服薬時は飲み込まれるまで見守っている。 薬の変更時・状態変化時は協力医に指示あおいでいる。</p> | | |
| 75 | | <p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> | <p>(自己評価) 便秘に対し、繊維の多い飲食物の工夫や生活活動のリズムづくり、予防のための水分摂取などに取り組んでいる。</p> | | |
| 76 | | <p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p> | <p>(自己評価) 毎食後歯みがきの声かけ行い、本人の力に応じた支援行っている。義歯は就寝前に洗浄介助している。</p> | | |
| 77 | 28 | <p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | <p>(自己評価) 一人ひとりの嗜好の把握、献立にとり入れるよう努める。毎食の食事量・水分量も記録し、職員で情報共有している。</p> <p>(外部評価) 利用者個々の健康状態や好み、栄養面に配慮した食事支援がなされている。日々の食事量や水分摂取量は詳細に記録されている。</p> | | |
| 78 | | <p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p> | <p>(自己評価) 全職員で、感染症予防の対応マニュアルに従って実行している。 インフルエンザは同意を得て、利用者・職員とも予防接種をうけている。</p> | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|---|--|---------------------------|--|
| 79 | | <p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>まな板、ふきんの頻回な漂白などの衛生管理、冷蔵庫の食材、冷凍食材の点検も行い食材の管理に努めている。</p> | | |
| <p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p> | | | | | |
| 80 | | <p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>スロープ、手すりを配置し、ベンチや植木があるなど工夫している。</p> | | |
| 81 | 29 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>生活音がする居心地の良さ、季節の花を飾るなどがけている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>共用空間は、畳のスペースもあり落ち着いた雰囲気となっている。壁にはちぎり絵やタペストリーが掛けられ、利用者がボランティアの方と生けられた花が食卓を飾っていた。</p> | | |
| 82 | | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>玄関にベンチ、ソファ、ウッドデッキにもベンチを置いている。</p> | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 83 | 30 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) | | |
| | | | 契約前に使い慣れたもの、馴染みのものを持って来ていただくようお願いしている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 居室には、テレビや鏡台、タンスなどがしつらえてあった。ご自身で描かれた絵画や思い出の賞状、写真なども飾られ、居心地よく過ごせる場所となっている。 | | |
| 84 | | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価) | | |
| | | | リビングは一日何回か換気している。 利用者に応じて温度調節も気を配っている。 居室は窓を閉めても空気の流れる設備・換気扇を全室備えている。 | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 必要な所への手すり設置している。 リビングの椅子は高さの調節可能なものを用意している。 | | |
| 86 | | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 本人がどこまで理解されているか把握に努める。 混乱、失敗あった時は職員間で新しい工夫を話し合う。 | | |
| 87 | | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 外周りに小さい庭があり、リビング横のまどにウッドデッキがあり、そこからスロープがあり、両側に手すりがある。ウッドデッキや玄関戸の外、横にはベンチ設置している。 | | |

| . サービスの成果に関する項目 | | |
|-----------------|---|--|
| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない | 開設してすぐからの利用者の方が3名、他の3名の方とも、日頃のコミュニケーションから本人の思いの表出をつかんでいる。(よく気持ちを話してもらっている) |
| 89 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない | 昼食後、おやつ前後の時間、夕食後 |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 外へ草引きに行かれたり、買物の希望、趣味に取り組む時間など自分の自由に行動されている。(車いすの方も) |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 重度の方でも、表情が良くなることあったり、意思表示されることが増える。他の方では冗談を言ったり、悲しい気持ちの表出があったり、その人らしい姿がみられている。 |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 買物を好まれる方多く、出かけられる。散歩、外気浴や草引きをしに出られたりしている。(出られる方は毎日) 外出を嫌われる方もおられ、なかなか出られない。 |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 協力医の頻回な訪問、日頃の体調を把握し、本人の心身の訴えを聞いたらすぐに対応を行い、不安を取り除くようにしている。 |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 入退院、外泊など、できる限り、本人の希望に応じている。 |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない | 家庭の事情で面会が難しい方以外の方は面会時、お話しの中で、希望等聞き取るように努めている。家族さんも希望、思いなど伝えて下さっていると感じる。 |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない | 地域のボランティアの方、幼稚園の園児さんなどの訪問がある。 秋のお祭りでみこしは毎年来て下さっている。 |

| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
|-----|--|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えている (自己 評価) ③あまり増えていない 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 4 全くいない | 運営推進会議があまり行われていないので、今後は会議の内容も含めて検討していき たい。 |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている (自己 評価) ①ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 「利用者さんと話すのが好き」「この仕事が好き」など、1人1人が自分の仕事へ の思いをもって働いてくれている。 働き易い職場を目指し、改善し続けていく考えである(運営者、管理者)。 |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 利用者の要望(買物、外出、散歩、入浴)を日々の生活の場でまず受け止めることを 一番に考えているので、笑顔、表情も良く過ごされている。 |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 評価) ①ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない | 面会時や電話でのやりとりの時に要望や不満を話して下さっている。こちらも迅速な 対応を心がけている。 |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者がホームの雰囲気はほっとされ、不平や文句も安心して言えるような、職員はそれを柔軟に受けとめ対応できるような相互関係づくりに力を入れています。職員に笑顔・挨拶の大切さも指導しています。

食事面では栄養の偏りがないように野菜を多く取り入れた食事づくりをしています。食事の担当者(月に20日昼・夕食担当)は利用者が何を食べたいか、話を聞いて献立にとり入れるようにします。また、残食量や味つけはどうだったかなども利用者さんに話を聞いています。好き嫌い、健康上食べられない物のある方にも、極力食べてもらいたく、代用メニューなど工夫しています。